

令和8年3月31日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

会 派 名 志政会

代表者名 代表 五十嵐 伸



政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

須賀川市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、令和7年度政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

1 収 入 政務活動費 3,240,000 円
(30,000 円× 9 人× 12 月)
(円× 人× 月)

2 支 出 (単位：円)

科 目	金 額	備 考
調査研究費	1,501,536	①行政視察（熊本方面） 898,926
		②行政視察（宮城、青森方面） 602,610
資料作成 購入費	14,256	①月刊誌購読料（月刊「ガバナンス」） 14,256
広 報 費	515,735	①会派報発行 515,735
事 務 費	10,571	①事務用品代 1,408
		②事務用品代 9,163
計	2,042,098	

3 残 額 (返還額) 1,197,902 円

* 利息分は含めない。



政務活動費会計帳簿

令和7年度

経理責任者

関根篤志

月 日	項 目	収 入 額	支 出 額	備 考	支 出 項 目
4/16	上半期政務活動費	1,620,000		9人×6ヶ月	
6/17	行政視察旅費等		898,926		調査研究費
8/22	月刊誌購読料		14,256	月刊ガバナンス 年間購読料	資料作成購入費
10/22	下半期政務活動費	1,620,000		9人×6ヶ月	
10/28	行政視察旅費等		602,610		調査研究費
1/31	インク代		1,408		事務費
2/4	会派報発行		515,735	20,000枚印刷 15,500枚折込	広報費
3/10	インク代、コピー用紙		9,163		事務費
収 支 計		3,240,000	2,042,098	残額 1,197,902 円	

精算確認年月日

令和8年3月31日

確認者氏名：五十嵐 伸



令和7年度 政務活動費実績書

会派名 志政会

事業名	事業内容
行政視察	1 令和7年7月1日(火) 熊本県八代市「地域公共交通について」 2 令和7年7月2日(水) 熊本県荒尾市「中学校フリースクールについて」 3 令和7年11月5日(水) 宮城県登米市「市民協働のまちづくりについて」 4 令和7年11月6日(木) 青森県八戸市「八戸ポータルミュージアムについて」
研修会	
会派報発行	志政会だより A4二つ折り カラー印刷 20,000枚 折り込み用 15,500枚

調查研究費

令和7年7月25日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

須賀川市議会 志政会

代表 五十嵐 伸



視察研修報告書

先に実施した視察研修概要について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 期 日 令和7年7月1日(火)から3日(木)
- 2 研修地 熊本県八代市、熊本県荒尾市
- 3 視察内容 熊本県八代市「地域公共交通について」
熊本県荒尾市「中学校フリースクールについて」
- 4 参加者 8名
五十嵐伸(代表)、佐藤瞭二(2日目まで)、大柿貞夫、小野裕史、古川達也、関根篤志、松川勇治、深谷勝仁
- 5 概 要 行政調査日程及び調査内容は、別紙資料のとおり

以 上



令和7年5月23日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

会 派 名 志政会

代表者名 代表 五十嵐 伸



視 察 研 修 届

下記により視察研修を実施しますので諸般の事務処理についてよろしくお取り計らいください。

記

- 1 期 日 令和7年7月1日(火)～3日(木)
- 2 研修地 熊本県八代市、熊本県荒尾市
- 3 研修内容
 - (1) 熊本県八代市
「地域公共交通について」
 - (2) 熊本県荒尾市
「中学校フリースクールについて」
- 4 参加者 五十嵐伸(代表)、佐藤瞭二(2日目まで)、大柿貞夫、熊谷勝幸、小野裕史、古川達也、関根篤志、松川勇治、深谷勝仁
- 5 旅 費 957,653円



令和7年6月6日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

会 派 名 志政会

代表者名 代表 五十嵐 伸



視 察 研 修 変 更 届

令和7年5月23日付けで提出した視察研修届について、変更がありましたので届
出ます。

記

- 1 変 更 の 内 容 熊谷勝幸議員の欠席による参加者及び旅費の減
- 2 参加者 (変更後) 五十嵐伸 (代表)、佐藤瞭二 (2日目まで)、大柿貞夫、
小野裕史、古川達也、関根篤志、松川勇治、深谷勝仁
- 3 旅 費 (変更後) 898,926 円
- 4 視察研修届(5/23) 別添のとおり



志政会 視察旅費額

7月1日(火)~3日(木) 2泊3日

議員 7人

※議員1人当たりの金額

項目	金額	期日	行程	距離(km)	金額(円)	備考
航空運賃	72,500	7/1	福島空港⇒伊丹空港⇒熊本空港	1,283.0	32,700	
		7/3	熊本空港⇒伊丹空港⇒福島空港	1,283.0	39,800	
鉄道運賃	2,920	7/2	八代駅⇒荒尾駅	80.7	1,930	
		7/2	荒尾駅⇒熊本駅	45.0	990	
バス	3,300	7/1	熊本空港⇒ホテルα1前	60.6	2,300	すーぱーばんぺいゆ号
		7/3	熊本駅⇒熊本空港	20.5	1,000	空港リムジンバス
車賃	777	7/1,3	須賀川市役所⇄福島空港	21.0	777	10.6×2÷21km×37円
宿泊	26,600	7/1	八代市内宿泊	乙地方	13,300	
		7/2	熊本市内宿泊	乙地方	13,300	
日当	9,000	7/1~3	3,000円	3日分	9,000	
計	115,097					

※旅費計

一人当たり 115,097円 × 7人 = 805,679 円

合計

805,679 円

志政会 視察旅費額

7月1日(火)~2日(水) 1泊2日

議員 1人

※議員1人当たりの金額

項目	金額	期日	行程	距離(km)	金額(円)	備考
航空運賃	69,000	7/1	福島空港⇒伊丹空港⇒熊本空港	1,283.0	32,700	
		7/2	熊本空港⇒伊丹空港⇒福島空港	1,283.0	36,300	
鉄道運賃	870	7/2	八代駅⇒熊本駅	35.7	870	
バス	3,300	7/1	熊本空港⇒ホテルα1前	60.6	2,300	すーぱーばんぺいゆ号
		7/2	熊本駅⇒熊本空港	20.5	1,000	空港リムジンバス
車賃	777	7/1,2	須賀川市役所⇄福島空港	21.0	777	10.6×2÷21km×37円
宿泊	13,300	7/1	八代市内宿泊	乙地方	13,300	
日当	6,000	7/1,2	3,000円	2日分	6,000	
計	93,247					

※旅費計

一人当たり 93,247円 × 1人 = 93,247 円

合計	93,247 円
----	----------

総合計	898,926 円
-----	-----------

須賀川市議会「志政会」 行政視察日程

≪視察先及び研修項目≫

- ① 熊本県八代市 「地域公共交通について」
- ② 熊本県荒尾市 「中学校フリースクールについて」

【1日目】 7月1日 (火)

福島空港 ————— 伊丹空港 ————— 熊本空港 ————— (昼食) —————

ANA1696便

ANA1625便

8:05発/9:15着

10:40発/11:55着

————— ホテルα-1前 —————

八代市視察
(八代市役所)

 ————— 宿舎 (八代市内)

リムジンバス
「すーぱーばんべいゆ号」

徒歩

13:25発/14:32着

(14:45~16:00)

【2日目】 7月2日 (水)

宿舎 ————— 八代駅 ————— 荒尾 (熊本) ————— (昼食) —————

荒尾市視察
(荒尾市役所)

JA鹿児島本線・銀水行

徒歩

徒歩

9:58発/11:32着

(13:30~15:00)

————— 荒尾 (熊本) ————— 熊本駅 ————— 宿舎 (熊本市内)

JA鹿児島本線・八代行

15:58発/16:45着

【3日目】 7月3日 (木)

宿舎 ————— 熊本市内施設視察 ————— (昼食) ————— 熊本駅前 —————

(9:00~12:00)

————— 熊本空港 ————— 伊丹空港 ————— 福島空港

空港リムジンバス・
阿蘇くまもと空港行

ANA1628便

ANA1697便

13:25発/14:27着

15:30発/16:45着

19:05発/20:10着

令和7年11月27日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

須賀川市議会 志政会

代表 五十嵐 伸



視 察 研 修 報 告 書

先に実施した視察研修概要について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 期 日 令和7年11月5日(水)から7日(金)
- 2 研 修 地 宮城県登米市、青森県八戸市
- 3 視察内容 宮城県登米市「市民協働のまちづくりについて」
青森県八戸市「八戸ポータルミュージアムについて」
- 4 参加者 9名
五十嵐伸(代表)、佐藤瞭二、大柿貞夫、熊谷勝幸、小野裕史、古川達也、関根篤志、
松川勇治、深谷勝仁
- 5 概 要 行政調査日程及び調査内容は、別紙資料のとおり

以 上



令和7年10月14日

須賀川市議会議長 佐藤 瞭二 様

会 派 名 志政会

代表者名 代表 五十嵐 伸



視 察 研 修 届

下記により視察研修を実施しますので諸般の事務処理についてよろしくお取り計らいください。

記

- 1 期 日 令和7年11月5日(水)～7日(金)
- 2 研 修 地 宮城県登米市、青森県八戸市
- 3 研修内容
 - (1) 宮城県登米市
「市民協働のまちづくりについて」
 - (2) 青森県八戸市
「八戸ポータルミュージアムについて」
- 4 参 加 者 五十嵐伸(代表)、佐藤瞭二、大柿貞夫、熊谷勝幸、小野裕史、古川達也、関根篤志、松川勇治、深谷勝仁
- 5 旅 費 595,530 円
資 料 代 9,000 円
合 計 604,530 円



志政会 視察旅費額

11月5日(水)～7日(金) 2泊3日 議員 9人
 ※議員1人当たりの金額

項目	金額	期日	行程	距離(km)	金額(円)	備考
鉄道運賃	28,570	11/5	須賀川⇒郡山⇒くりこま高原	201.1	6,710	乗車券(JR) 須賀川～くりこま高原 3,740円 (201.1km) 特急券(JR・東北新幹線) 郡山～くりこま高原 2,970円 (189.5km)
		11/5	くりこま高原⇒盛岡	119.1	4,950	乗車券(JR) くりこま高原～盛岡 1,980円 (119.1km) 特急券(JR・東北新幹線) くりこま高原～盛岡 2,970円 (119.1km)
		11/6	盛岡⇒八戸⇒本八戸	102.1	4,180	乗車券(JR) 盛岡～本八戸 1,980円 (102.1km) 特急券(JR・東北新幹線) 盛岡～八戸 2,200円 (96.6km) ※11/6午前中に施設視察があり、急施を要するため特急可
		11/7	本八戸⇒八戸⇒仙台⇒郡山⇒須賀川	422.3	12,730	乗車券(JR) 本八戸～須賀川 7,150円 (422.3km) 特急券(JR・東北新幹線) 八戸～郡山 5,580円 (405.2km)
宿泊	26,600	11/5	盛岡市内宿泊	乙地方	13,300	
		11/6	八戸市内宿泊	乙地方	13,300	
日当	9,000	11/5～7	3,000円	3日分	9,000	
計	64,170					

※旅費①計 一人当たり 64,170円 × 9人 = 577,530円

※旅費②計

項目	金額	期日	行程	距離(km)	金額(円)	備考
借上料	18,000	11/5	くりこま高原→登米市役所(往復)		18,000	9,000*2(往復) 見込、要精算

合計	595,530円
----	----------

志政会 令和7年11月5～7日 視察研修精算内容

当初見込み 旅費595,530円+資料代9,000円=604,530円

概算（見込）	604,530	円
返還	1,920	円
実績（確定）	602,610	円

内訳

タクシー代	くりこま高原駅ー登米市役所（往復）	
概算		18,000 円
実績		16,080 円
差額（返還）		1,920 円

領収書

2025年11月05日 -001

メーター運賃 ¥8,040円

合計 ¥8,040円
(税率10%)

登録番号 T7370202004912

現金支払 ¥8,040円

車両番号 308

毎度ご乗車ありがとうございます。

(有)志波姫タクシー

栗原市志波姫新原142-2

フリーダイヤル 0120-25-3322 (県内)

TEL 0228-25-3333

領収書

2025年11月05日 -002

メーター運賃 ¥8,040円

合計 ¥8,040円
(税率10%)

登録番号 T7370202004912

現金支払 ¥8,040円

車両番号 308

毎度ご乗車ありがとうございます。

(有)志波姫タクシー

栗原市志波姫新原142-2

フリーダイヤル 0120-25-3322 (県内)

TEL 0228-25-3333

納入通知書兼領収書 (税外)

福島県須賀川市八幡町135

志政会

様

令和7年度	現年度	呼出番号 04383341
-------	-----	---------------

所属 商工労働まちづくり部・八戸ポータルミュージアム

金額	¥9,000 円
-----------	-----------------

件名 11/6視察資料代 (9名分)

会計 01 一般会計

款	22 諸収入
項	05 雑入
目	03 雑入
節	01 雑入
細節	82 雑入
細々節	27 雑入

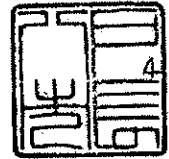
納入通知日

納入期限日

令和 7年 11月 6日

上記の金額を納入期限までに
納入してください。

八戸市長



八戸市指定 (収納代理) 金融機関

領収日付印

八戸市出納員 (分任出納員)



元調定伝票番号 18898

伝票番号 07-039262

(八戸市)

資 料 作 成 購 入 費

廣 報 費

領 収 証

No. 000163

令和 8 年 2 月 4 日

志政会様

金 515,735-

但し 志政会様より EP 印刷代として

上記の金額正に領収致しました

現
小
約
相



登録番号 T6-3800-0202-0028

内 訳

税抜価格 468,850

消費税額 10% 46,885

有限会社 円 倫 印 刷

代表取締役 哲

〒 962-0846 福島県須賀川市大治町

TEL (0248) 75-1105

FAX (0248) 75-3999

担当印



事 務 費

発行日: 2026年03月10日

領収書

本業

¥9,163 (内消費税 ¥833)

但し 代として。

管理No. 0857-402-0002094

伝票No. 0857-402-082254

支払内訳

現金 ¥9,163

10%対象

¥9,163(内消費税

¥833)

上記の金額正に領収いたしました。

株式会社ヤマダデンキ
群馬県高崎市栄町1-1-1
登録番号: T2070001036729

※印刷面を内側に折って保管願います。



印紙税冊子納付にき高崎
税務署承認済



2864416010	YCPA4H1	WH
プリンタの	1:持帰 外10	
	490×5	¥2,450
4204341013	BC1381XLY	381
キャノン	1:持帰 外10	
		¥1,960
4204338013	BC1381XLC	381
キャノン	1:持帰 外10	
		¥1,960
4204340016	BC1381XLM	381
キャノン	1:持帰 外10	
		¥1,960
小計		¥8,330
+消費税		
税合計		¥9,163
合計		¥9,163
	(内消費税	¥833)
10%対象		¥9,163
(内消費税		¥833)

DAIYU HOME CENTER
8ダイユーエイト

郡山金屋店 電話 024-973-8102

登録番号 T9380001000795
いつもご利用頂き誠にありがとうございます。
商品の返品はレシートをご持参の上、1週間以内にご来店下
2026年01月31日(土)16:01 印0001

責No0000364820221083

240101内インクカートリッジ ¥1,408
合計 ¥1,408
(内10% 対象額 ¥1,408)
(内10% ¥128)
(内税計 ¥128)
(税合計 ¥128)

お預り ¥2,000
お釣り ¥592
お買上点数 1点

須賀川市議会 志政会だより

発行日/令和8年1月13日 発行責任者/五十嵐 伸 須賀川市守屋字日向41番地 ☎65-3127

ご挨拶

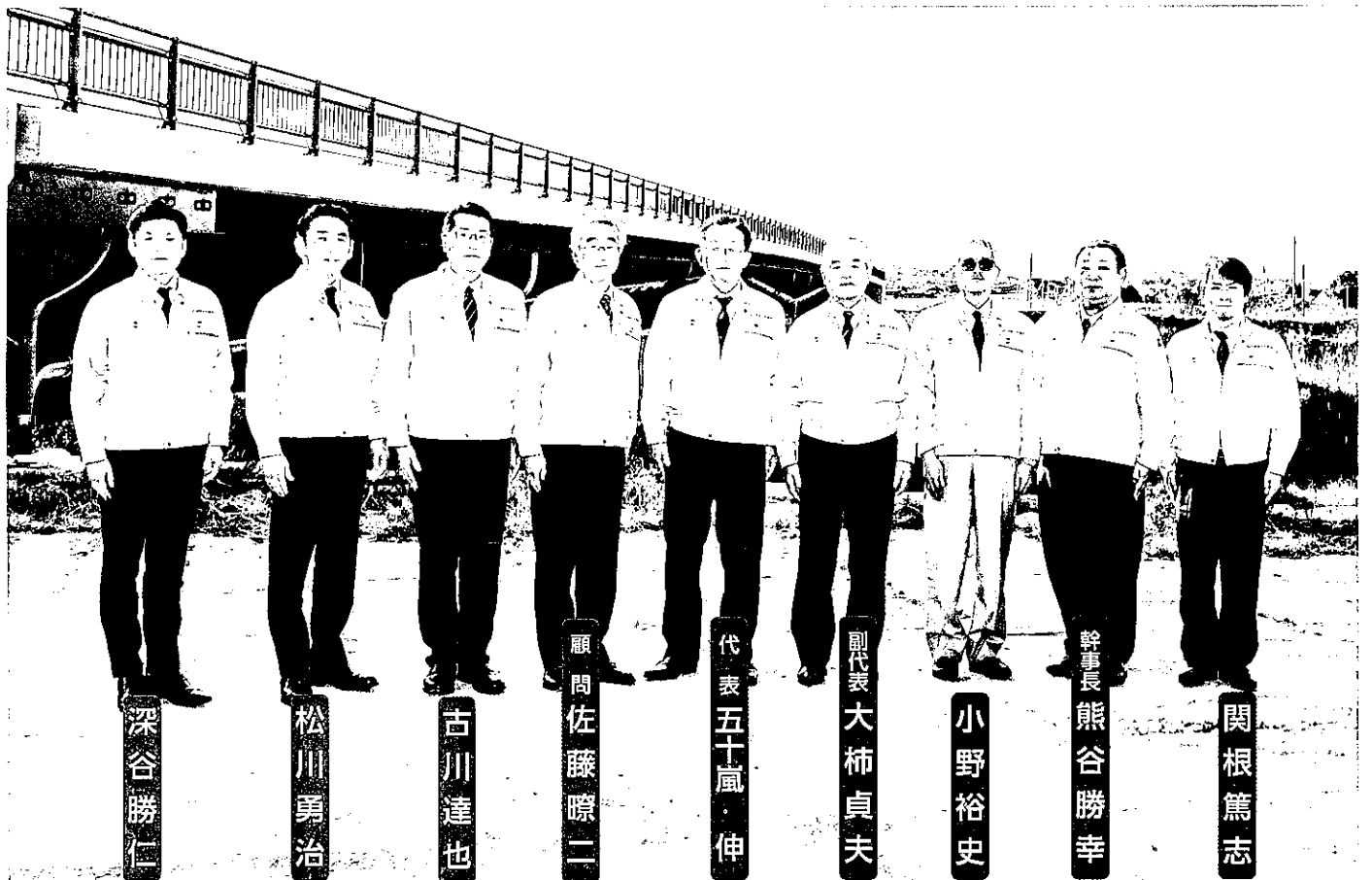
新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。また、日頃より志政会(会派)へのご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は、長引く戦争や関税引き上げ等の影響により、年間を通して世界経済が混乱し、また物価高騰が続くことによって、私たちの生活を圧迫している状態が継続しております。嬉しい出来事と言えば、11月28日、ガソリンの暫定税率を廃止する法案が国会において全会一致で可決・成立したことです。ガソリン価格が下がり、家計の負担軽減、輸送・物流コストの削減、そしてそれに伴う物価高騰の緩和が期待されます。

市政においては令和6年度の決算報告により、「経常収支比率が過去最悪の101.2%」、「財政調整基金残高約3億2000万円」との大変厳しい財政状況であると衝撃的な報告がありました。

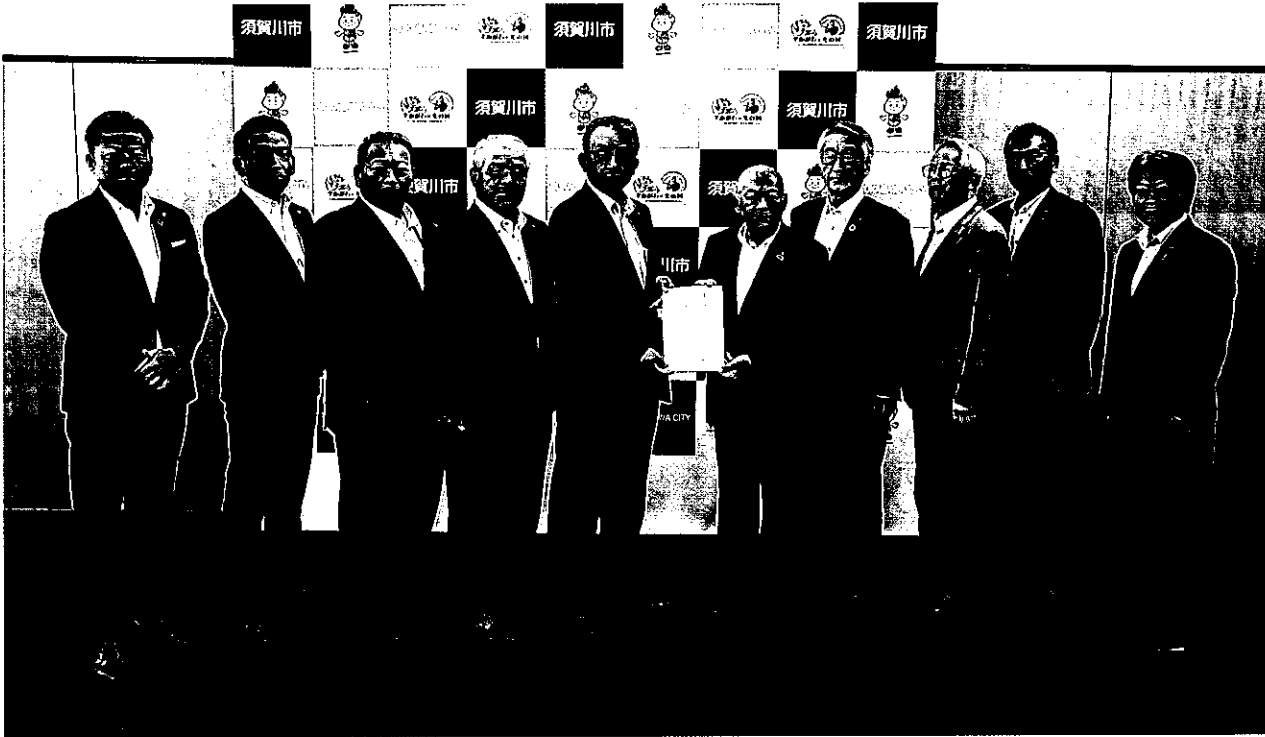
これまで志政会では、「市民の声を予算へ」との強い思いから、毎年度部局ごとに要望事項を取りまとめ提出してきましたが、この度の市の財政状況を鑑み、会派で議論を重ね、より重点的で実効性を高める方法への転換、最重要課題に絞り込んだ活動、まさに「選択と集中」の考え方に沿った内容へと刷新し、具現化に向け当局へ要望書を提出しました。

人口減少や少子高齢化の進行、急速なデジタル化、頻発する自然災害、公共施設の改修や統廃合など、社会環境は日々目まぐるしく変化しています。私たち党派9名は未来に目を向け、時代の変化に応じた柔軟な発想を持ちながら、市の将来都市像の実現に向け活動をしてまいりますので、皆様方のより一層のご支援とご協力をお願いします。



雲水峯大橋(令和7年12月10日・令和9年供用開始予定)

令和8年度に向けた要望書を提出



市長及び教育長へ要望書を提出(令和7年9月19日)

本市の財政運営は、これまでにない大きな転換点を迎えています。令和8年度予算編成を前に示された厳しい財政指標は、将来世代への責任を改めて問いかけるものとなりました。限られた財源の中で、何を守り、何を優先すべきかが、いま強く求められています。市政運営のあり方そのものが問われる局面にあると言えます。

志政会では、こうした現状を真正面から受け止め、従来の要望活動の在り方について抜本的な見直しを行いました。数を重ねる要望から、真に必要な施策を見極める要望へと舵を切り、課題を明確にした上で実効性を高める取り組みへと転換しています。市民の皆さまの声を的確に反映させることを、これまで以上に重視しています。

人口構造の変化や社会課題の複雑化が進む中、行政には的確な判断と持続可能な選択が求められています。当会派は、市民生活を守り、将来に希望をつなぐため、重点を明確にした提言と建設的な議論を通じて、市政の前進に取り組んでまいります。

「集中改革プラン」に基づく歳出の見直しは、限られた財源を有効に活用するうえで極めて重要であり、一定の理解を示すものである。

しかしながら、単に予算を削減することのみに終始することではなく、地域の実情や市民ニーズを的確に踏まえ、真に必要なとされる事業については、その重要性や効果を十分に検証したうえで、今後も継続的かつ着実に実施していくことが不可欠である。特に、財政、生活インフラ、観光、教育の分野については、短期的なコスト削減に偏ることなく、中長期的視点から必要な投資として捉え、柔軟に対応していただき、歳出削減の方針にあっても、やるべき事業については確実に実施されるよう、以下の通り強く要望しました。

財政について

- 公共施設マネジメントの取り組みについては、早計に判断することなく有識者や議会の理解を得たうえで取り組む事を求める。
- 財源確保に向けた取り組みとして、歳出の更なる見直しや削減、歳入(ふるさと納税、使料の見直し、目的達成後の財産の売却など)の更なる確保に向けた取り組みを求める。尚、

事業費確保のため積極的な国・県に対する要望活動を求める。

- 過疎地域持続的発展計画に基づき過疎債を効果的に活用し、地域活性化に努めることを求める。

生活インフラについて

- 須賀川駅西口周辺の市所有地活用については、整備と並行して企業誘致や民間事業者の参入に向けた公募プロセスを早期に導入することを求める。
- 市民の日常生活と社会経済活動の基盤を支え、生活の利便性・安全性・快適性の確保を求める。

観光について

- ウルトラン・特撮関連事業の費用対効果の分析により地域経済への好循環を生み出せる対策を求める。

教育について

- 地域に根差した持続可能な部活動地域移行を更に前進させるため、学校・保護者・地域団体を調整する「部活動地域移行コーディネーター」の早期配置を求める。
- 将来を見据えた学校適正配置、規模を保護者や地域の方々と対話を通じて協議、検討を進めることを求める。

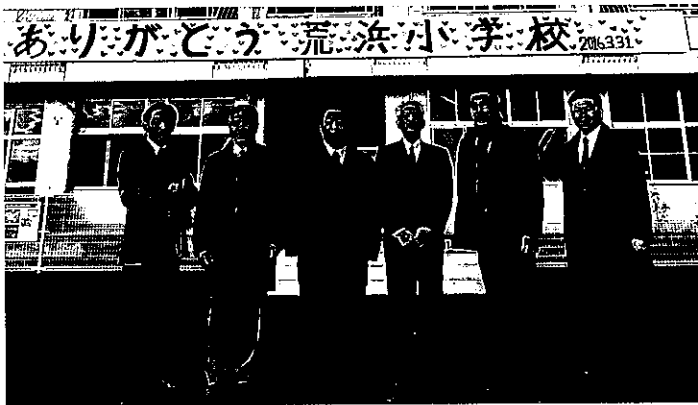
志政会では、他の自治体が取り組んでいるさまざまな施策や工夫を直接学び、須賀川市のまちづくりに生かすための行政視察を行っています。現地を訪れることで、資料だけでは分からない現場の雰囲気や運営の工夫、課題などを実感をもって理解し、そこで得た気づきや学びを持ち帰り、市民の声とあわせて政策提案や議論に反映させることで、より暮らしに寄り添った市政の実現につなげていきます。

行政視察 報 告

「震災遺構に学ぶ防災の教訓」

宮城県仙台市 令和7年1月14日(火)

東日本大震災の震災遺構である仙台市立荒浜小学校を視察しました。校舎に残る津波の痕跡から、被災の甚大さを改めて実感するとともに、発災直後に教職員が行った迅速かつ確かな避難判断により、多くの児童と地域住民の命が守られた事実を学びました。防災は設備や計画だけでなく、日頃の備えと現場での冷静な判断が重要であることを強く感じました。今回得た教訓を、今後の地域防災対策や防災意識の向上に確実に活かしていきたいと考えています。



「廃炉と復興の現状を視察」

福島県大熊町 令和7年1月15日(水)

福島第一原子力発電所を視察し、廃炉に向けて着実に進められている取り組みと、今なお最前線で作業にあたる多くの関係者の努力に直接触れることができました。事故から年月が経過した現在も、復興には長い時間と継続的な支援が不可欠であることを改めて実感しました。福島県、そして本市が歩んできた復興への道のりに心を寄せながら、地域の安心と将来への希望につながる取り組みを、私たちも責任を持って支えていきたいと考えています。



「地域公共交通について」

熊本県八代市 令和7年7月1日(火)

熊本県八代市の地域公共交通は、広域で人口分散型の地形に対応するため、路線バスや乗合タクシー、自家用有償運送を組み合わせ再編が進められている。乗合タクシーは事業者分担制で運行し、高齢者配慮としてデジタル予約と電話予約を併用している。AIオンデマンド交通は成果を挙げたが運行制約が課題である。人口減少と財政負担増の中、交通空白地域の解消と持続可能な移動手段確保に向けた取り組みを市政にもつなげていきたいと思います。

「中学校校フリースクールについて」

熊本県荒尾市 令和7年7月2日(水)

荒尾市では「不登校ゼロ・いじめ見逃しゼロ」を掲げ、市直営で中学校校フリースクール「ハートフルルーム」を校内に設置している。空き教室2教室を活用し、教員免許を持つ指導者を配置、公用車による送迎や携帯電話の活用などアウトリーチ型支援を実施。通常学級とのトラブルはなく、好影響も見られる。教職員やSSWとの連携体制も強化され、年間2～3名が通常学級へ復帰。行政・学校・家庭が一体となった不登校支援として評価されており、市政につなげていきたい。



「市民協働のまちづくりについて」

宮城県登米市 令和7年11月5日(水)

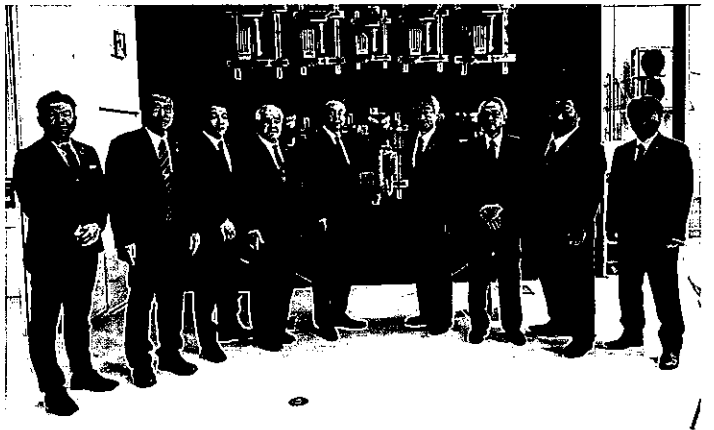
当市と同じくらいの人口である登米市において、市民協働のまちづくりの先進事例として学んできました。登米市は町内会や各地区の行政区をまとめる団体として、地域コミュニティ協議会を21の地区に再編し、地域コミュニティを効率的に形成しています。これら地域コミュニティ協議会は、市役所からの業務委託という形で、各地域の公民館を軸に、それぞれの地域の特色を活かしたまちづくりを展開していました。本市の地域づくりにも将来的には大いに参考となるものであり、持続可能な地域運営の視点からも示唆に富む内容でした。



「八戸ポータルミュージアムについて」

青森県八戸市 令和7年11月6日(木)

八戸ポータルミュージアム「はっち」は、文化・交流・にぎわいを一体的に創出する中心市街地活性化の拠点である。年間約60万人が来館し、市民活動、観光、創作支援、飲食、物販を融合した運営が特徴。若者や市民の参画を促し、人材育成と地域循環を生み出している点も評価された。官民協働やテナント収益による財源確保を行い、隣接するマチニワ、ブックセンターと連動した回遊性の高い施設構成により、地方都市における持続可能な公共施設運営の先進事例として位置付けられています。今後のまちづくり施策を検討する上で参考となる施設です。



会派所属議員の委員会配属の変更がありました

五十嵐 伸(代表)

● 経済建設常任委員会委員

● 議会運営委員会委員

● 須賀川地方保健環境組合議会議員

大柿 貞夫(副代表)

● 総務常任委員会委員長

● 公立岩瀬病院企業団議会議員

● 須賀川地方保健環境組合議会議員

熊谷 勝幸(幹事長)

● 文教福祉常任委員会委員長

● 議会運営委員会委員

● 須賀川地方保健環境組合議会議員

小野 裕史

● 文教福祉常任委員会委員

● 須賀川地方広域消防組合議会議員

古川 達也

● 経済建設常任委員会副委員長

● 議会広報常任委員会委員

● 公立岩瀬病院企業団議会議員

● 都市計画審議委員

編集後記

本号では、厳しさを増す本市の財政状況を踏まえた要望活動の考え方とともに、各地の先進事例を学んだ行政視察の内容をお伝えしました。財政、交通、防災、教育、地域づくりなど、いずれの課題も市民生活に直結する重要なテーマです。現場で得た気づきや教訓を、須賀川市の実情に即した形で政策提案につなげていくことが、私たち議会の責務だと改めて感じています。

関根 篤志

● 経済建設常任委員会委員

● 議会運営委員会副委員長

● 須賀川地方広域消防組合議会議員

● 都市計画審議委員

松川 勇治

● 総務常任委員会委員

● 議会広報常任委員会副委員長

● 須賀川地方保健環境組合議会議員

深谷 勝仁

● 文教福祉常任委員会委員

● 議会運営委員会委員

● 議会広報常任委員会委員

● 予算常任委員会副委員長

● 須賀川地方広域消防組合議会議員

佐藤 瞭二(顧問)

● 議長

● 総務常任委員会委員